

「協力してほしいと言われれば、
自分のできることを考えます。」

10年以上にわたり
ボランティアの植栽活動を通して
まちの環境美化に努められている。

具体的な活動内容としては、環境フェスタ
イベントへの苗木の寄付、国立第二中学校の
校庭沿いの水仙の植栽、城山さとのいえや
郵政研修所内ほか市内各所でのひまわり
の植栽など多岐にわたる。

環境保全功労

さえき とみお
佐伯 富雄氏

「植栽活動を始めたきっかけを
教えてください。」

幼い頃、父と府中の大國魂神社
へ行ったときにたまたま植木市
が催されていて、そこでベニシタ
ンの苗木を小遣いで購入したの
が、興味を持ったきっかけです。

その後、国立第二中学校に入学。
園芸部の部長となった2年生の
頃に、はじめて公での植栽活動を
行いました。当時畑の跡地に建っ
たばかりの学校はすぐに土煙が
立ち、校舎に土埃が舞い込んでひ
どかったため、それを防ぐ木の壁
を設けるために校庭に苗木を植
えたのです。教員やPTAの方々
も活動を支援してくださいまし
たが、部員として毎日水くれ（水
やり）や割箸での補強をして回る
実作業は思いのほか大変だった
記憶があります。

「ボランティアについてどのよ
うにお考えですか。」

社会人になってからも、街なか
にある植木や花壇が枯れている
のを見ると放っておかず、植栽を
行うことがあります。

そうした中で多くの方と出会
い、例えば公園協力会に参加した

り、市民の方からひまわりの種を
譲り受けたり、市民養蜂家の方と
知り合ってミツバチの蜜源を作る
うという話になったり、いろいろ
な縁があつてボランティア活動を
行ってきたところです。商業行為
ではないので、協力してほしいと
言われれば、自分のできることを
考えます。

「市内各所にある広大なひまわり
畑にも携わられています。これ
だけの広大なひまわり畑をどのよ
うにつくったのですか。」

市内の生徒さんの協力を得て植
栽を行っているのです。泉（国立
市の町名）にある畑のひまわりは
国立第三中学校の生徒さんと、郵
政研修所内のひまわりは国立第二
小学校の生徒さんと一緒に。泉の
畑だと、種まきは1年生、収穫は
3年生などに分けて、全校生徒に
参加してもらっています。郵政研
修所内の方は5年生が種まきから
収穫までの全工程を手伝っていた
だいています。

「植栽を楽しむコツがあれば、教

えてください。」

花を育てている人から種や枝を
譲り受けて、それを育てていくとい
うやり方をお勧めします。花を育て
ている人というのは、自分の育てた
花が褒められると喜ばしく思うも
のです。そういう交流を経て、種や
枝先を少し譲ってほしいとお願い
される分には、嫌がる人はあまりい
ないと思います。そうして譲り受け
た種を、時間をかけて育てて花を咲
かせた、となれば感慨ひとしおです。

「今後の抱負についてお伺いた
します。」

せっかく今各所でひまわりの植
栽ができています。それは継続し
ていきたいです。また、後を継いで
くれる人がいれば、引き継ぎも行っ
ていきたいと考えています。

ボランティア活動をしていると、
「やり過ぎかな」と悩むときがあり
ます。朝早く公園で植栽を行って
いるときに、「子供たちの遊び場を何
をしている」と注意されたことがあ
ります。良かれと思っていた事が一
方では不適切な行為として映るこ
とがあると肝に銘じながら、自分の
できることを考えていきたいと思
っています。